

# ゴールデンウィーク イベントへ行こう!



場 軽便与那原駅舎展示資料館 館内 日 5月3日(土)～5月5日(月) ※5月6日(火)は休館日のため実施なし

時 10:00～18:00 料 100円 ※町内在住・通勤・通学、小学生以下は無料

今年のゴールデンウィークも与那原駅舎で期間限定イベントを開催します。毎年大人気のトイレールひろばに、沖縄県鉄道の駅名が書かれたランダム缶バッジくじ、ペーパークラフトのワークショップなどさまざまな催しが目白押しです。ぜひ遊びにきてください!

## トイレールであそぼう!

- 5/3(土)～5/5(月)
- 参加費無料



## オリジナル缶バッジくじ

- 5/3(土)～5/5(月)
- 1回200円



## ワークショップ ペーパークラフトで 制帽づくり

- 5/4(日)のみ



詳細は駅舎  
ホームページまで  
与那原駅舎展示資料館  
公式HP(おしらせ)▶



# 驛舎通信⑪

## 戦前の通学定期乗車券

4月から新学期になって新しい学校に通っているという方も多いのではないのでしょうか。バスだと通学定期券もありますが、戦前の沖縄県鉄道でも同様の定期券を発行していました。当時の「沖縄県鉄道学生定期乗車券規程」(昭和6年改正)から、通学定期券について紐解いてみましょう。

発行は「官公私立学校の学生および生徒」に限るとあり、期間は「1か月」と「3か月以上」の2種。注目すべきはその割引額です。1か月だと6割引、3か月以上だと、なんと8割引となっています。

定期券の運賃計算は「1か月を26日とし、これに1往復の普通賃金を乗し得たる額より前条の割引をなし、厘位を生じたときは銭位に切り上げるもの」といいます。与那原から那覇へ通う想定をして、3か月定期がいくらになるか計算してみましょう。

那覇駅までの片道運賃は18銭なので、往復だと36銭、2か月(78日)だと2808銭(28円8銭)となります。



駅での乗降風景。列車を降りる女学生が写る(那覇市歴史博物館提供)

それを8割引して切り上げると562銭(5円62銭)となり、この額で通学定期券が発行できたことが分かります。

いまの感覚だと、どれくらいの額になるのでしょうか。現在、与那原から那覇までバスだと片道440円かかります。それを同様に計算すると1万3千円ほど。もちろん当時と現在で事情が全く異なりますが、とても魅力的な金額ですね。戦前はまだ自給自足の農家が多く、現金収入に限られる時代でしたが、通学定期券は遠方から通う学生の強い味方だったことでしょう。

喜納 大作  
きなだいさく/軽便与那原駅舎展示資料館学芸業務担当  
(株式会社YUKAZE所属)。沖縄国際大学南島文化研究所特別研究員

# リニューアルした / 軽便与那原駅舎展示資料館に行こう



過去・現在・未来―  
沖縄の鉄道史を学べる県内唯一の資料館

かつて沖縄に存在した「沖縄県鉄道」。与那原交差点の近くにある「与那原駅舎展示資料館」は、沖縄戦の戦火によって失われた県営鉄道の歴史や文化を今に伝える貴重な場所です。鉄道開通100周年を迎えた2014年度、戦争で破壊された当時の与那原駅舎を昔の写真をもとに同じ場所に再現し、展示資料館として復元しました。

その資料館が、与那原線開通110周年を迎えた昨年11月に展示内容をリニューアルしたことをご存知ですか? 「過去・現在・未来」をテーマに与那原駅だけでなく、沖縄県全体の鉄道の歩みを幅広く学べるようになりました。

館内には時代ごとの歴史を伝えるタペストリーが展示され、沖縄の鉄道開業に至る過程や、戦後の鉄道復興計画、現代のLRT敷設計画などについて紹介。これからの公共交通についても考えられる内容に変わりました。さらに、車両模型や駅長の辞令書、大型路線図、運賃表や案内看板のパネルなども設置され、駅の雰囲気を楽しく演出しています。

与那原にしかない見どころ満載の資料館です。ぜひ足を運んでみてくださいね。

軽便与那原駅舎展示資料館▶

☎835-8888 国与那原町与那原3148-1 日10:00～18:00  
休火曜 日あり4台 町内及び小学生以下無料



1. 歴史を伝えるタペストリー。各パネルの下部にはキッズ向けの解説もあります。2. 展示ケースを中央に設置。小さなお子さんや車いすをご利用の方でも見やすい展示になりました。3. 現代の駅にあるデザインを採用した案内看板。4. 1937年に製造されたガソリンカー「キハ21」の車輛模型。1：48のスケール。5. ARを活用した展示案内も評判です。

おじいにも  
会いに来てね



三郎おじい